

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 230

2013年

1～2月号

2013年の新年に当たって

会長 間野吉幸

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

会の総力を挙げて対応しました昨年の40周年記念6事業は、大成功裏に終わりました。これは偏に会員の皆様の力を結集してなし得たもので、創立から40年を経た今もこの活力を維持できていることに心より感謝致します。

「手賀沼の鳥」と「四季の手賀沼周辺散歩」の40周年記念誌は、夫々読売新聞と朝日新聞に大きく取り上げられました。地元の野鳥とその周辺環境を長年に亘り地道に観察している当会の活動が評価されともとの理解しています。

手賀沼の水鳥は35年前に比べ1/3以下に、カモ科は1/7以下に減少しています。手賀沼の水鳥の減少に危機感を持って当会を設立した40年前に比べて更に危機的状態にあります。

一方、ミヤマガラスやコクマルガラスなど従来手賀沼周辺ではあまり見られなかった野鳥が多く観察されています。自宅で見ることのなかったルリビタキが、昨年の冬に初めて見られたなど最近の手賀沼周辺で大きな変化が起きていることを予感させています。

この10年で、当会の探鳥会などに参加される顔ぶれがだいぶ変わりました。全体の会員数はあまり変わりませんが新陳代謝が進んでいると思われれます。

これからの10年(50周年)に向けて、我々は変化に対する対応が求められています。今年はその最初の年になります。

私は年頭に当たり、改めて会の目的を噛みしめています。「当会は、自然のなかの野鳥を楽しむ、野鳥を愛するところを育てるとともに、野鳥を通じて自然保護に努め、人と鳥が共存する環境づくりを行い、あわせて会員の親睦を図る」ことです。

この目的を達成するためには、私達の活動でチェンジすべきところはチェンジしましょう。手賀沼に水鳥が戻る環境づくりは、多くの困難が伴います。その一助として地元の野鳥情報の発信や啓発活動を通じ、野鳥を愛する仲間を増やしたいと考えています。

今年はこの更なる発展の年の第一歩にしましょう。

行 事 案 内

1月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 本年最初の定例探鳥会です。
手賀沼周辺は例年以上、冬鳥達で賑わっています。この冬は冬鳥の到来も早く、種類も沢山見られるようです。注意深く観察しましょう。思いがけない鳥に出会えるかも知れません。

解 散 正午
担 当 北原

2月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 厳寒の季節ですが、鳥を見るには良い時期です。昨年は、クイナ、ミコアイサ、タゲリ等の美しい鳥、ミサゴ、トビ、ノスリ、ハヤブサなどの多くの猛禽類が見られました。今年も多く目の楽しませる鳥が出てくれることを期待しましょう。防寒対策を忘れないように。

解 散 正午
担 当 船津

1月、2月ピオトープ調査

期 日 1月10日(木) 雨天延期
2月7日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 1、2月はカモ、ツグミ等の冬鳥が多くなり、絶好の探鳥の季節です。昨年は1月23種、2月20種観察出来ました。この季節の花はサザンカ、木の実はラクショウ、ユズリハ位ですが、寒さに負けず、手賀沼周辺の冬景色を楽しみながら探鳥を

しましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解散 午前11時30分
担当 鈴木静治
Tel: 080-3121-4757

小見川・神之池・江戸崎探鳥会(再掲)

期 日 1月3日(木) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 毎年恒例の新年探鳥会です。探鳥コースは、利根川堤防沿いの小見川の葭原~神之池(神栖市)~江戸崎(稲敷市稲波干拓地)の3箇所を回り、猛禽類から水鳥まで多彩な冬鳥が楽しめます。小見川の葭原ではチュウヒなどのワシタカ、神之池ではミコアイサの群れなど多種のカモ類、江戸崎ではオオヒシクイをはじめ農耕地の鳥やハヤブサなどが期待できます。特に、江戸崎の稲波干拓地は関東で唯一のオオヒシクイの越冬地で、毎年70羽前後が訪れます。昨年は、ハイロチュウヒ、ミヤマガラスも新たに加わり、52種類が観察され、一昨年は移動途中の浮島付近で珍鳥の「ホシムクドリ」も観察しています。新たな出会いや思わぬ出会いを求めて、2013年の探鳥をスタートしましょう。

交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)

申 込 桑森亮まで
Tel/Fax: 04-7182-3149

担 当 松田、桑森

清里・佐久探鳥会

期 日 1月19日(土) 20日(日)
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 冬の清里高原ではペンションの庭に集まる小鳥(ニュウナイスズメ、シメ、イカル、アオゲラ、アカゲラ、アトリ、カヤクグリ、コガラ、ゴジュウカラ、キジ等)やリス等を窓より観察します。また、夕方と早朝、ペンションのご主人の案内で厳冬・白銀の八ヶ岳の麓、野辺山高原で探鳥をします。フクロウやコミミズク、ベニマシコ、ハギマシコ、ノスリ、カシラダカ等を期待しましょう。2日目は早朝探鳥の後、佐久の東電第1調整池に立ち寄り、水鳥(ミコアイサ、カワアイサ、コガモ、ヒドリガモ等のカモ類)とタカ類を期待して探鳥をします。

交 通 小型バス
宿 舎 ねむの木ペンション
山梨県北杜市高根町清里3545
Tel: 0551-48-3395
費 用 18,000円程度。参加人数により若干変化します。
持 物 観察用具、雨具、防寒具(戸外はマイナス10以下の厳冬ですから防寒具にはご注意ください) 雪が入らず滑りにくい靴、洗面用具・タオル、パジャマ、常備薬等
定 員 20名
申 込 六角昭男まで(旅行傷害保険に年齢が必要ですので、年齢をご連絡ください。)
Tel: 04-7185-2817
担 当 桑森、六角

井頭公園探鳥会

期 日 2月3日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
交 通 マイクロバス
案 内 恒例の探鳥会です。山野の鳥と水辺

の鳥を同時に観察できる井頭公園です。

今回はどんな鳥にあえるでしょうか。ミヤマホオジロ、アカゲラ、アオゲラ、ベニマシコ、ヨシガモ、ミコアイサなど楽しみです。

持 物 観察用具、防寒具、昼食(念のため雨具)
費 用 3,000円
定 員 28名
申 込 小林寿美子まで
申込期限 1月25日
Tel: 04-7188-5173
担 当 小林、染谷

渡良瀬遊水地探鳥会

期 日 2月17日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 バードウォッチングの「名所」渡良瀬遊水地を久々に訪れます。谷中湖では無数のカモ類やカイツブリ類が観察出来、アシ原ではチュウヒ、ハイロチュウヒ、チョウゲンボウ、ノスリなどが期待される猛禽類の宝庫となっています。真っ赤なベニマシコにも期待が持てます。尚、直近の鳥情報によっては、付近の田圃に立ち寄る場合も有ります。
交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車を提供いただける方は、その旨をご連絡下さい。
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可) 風の日には相当冷えますので、防寒対策を十分に。
申 込 金子雅幸まで
Tel: 04-7133-6944

担 当 野口(隆)、金子(雅)

銚子カモメ探鳥会

期 日 3月3日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前7時30分
案 内 銚子漁港は日本有数のカモメ観察
ポイントで、3月になると渡りのカ
モメが終結し膨大な数になります。
カモメの基本8種に先ずは出会い、
昨年観察したホイグリンカモメや
カナダカモメなど珍しい種にも期
待できます。海ガモにカイツブリ類、
普段見れないウミウやヒメウなど、
昨年は55種を観察しています。カ
モメは換羽の年数により様々な姿
を見せるので識別が難しいですが、
これを機会にチャレンジしてみま
しょう。帰り銚子漁港で購入するお
魚も楽しみです。
交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人
1,500円を運転者にお渡しください。
申し込みの際、自家用車を提供
可能な方はその旨ご連絡ください。
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途
中購入可)
申 込 桑森亮まで
Tel/Fax: 04-7182-3149
担 当 金子、桑森

市民手賀沼探鳥会

期 日 1月27日(日) 小雨決行
集 合 手賀沼親水広場 午前9時
案 内 当会と我孫子市環境レンジャー共
催の探鳥会です。一般市民の方と一
緒に手賀沼遊歩道を歩いて探鳥し
ます。手賀沼の冬鳥を観察するには
一番良い時期です。大勢の市民の方
の参加が予想されます。会員のサポ
ートが必要です。多くの会員の参加
をお待ちしています。
担 当 染谷、松本、佐々木、間野

1月役員会案内

日 時 1月13日(日) 13:30~16:00
場 所 水の館 3階研修室
議 題
平成24年度の反省と来年度に向けて
会報231号掲載記事について
第3四半期会計報告
報告事項
JBF2012の反省と2013について関係
団体関連報告
その他(議題のある場合は野口隆也ま
でご連絡ください)

行事報告

10月手賀沼探鳥会

調査日時 2012.10.14 9:00~12:00
曇り 無風 18

沼に鳥影が無いなか、モズの声がよく聞こえるので探しやすかった。ハヤブサが定位置の鉄塔の見にくい場所に止まっているのかかわらず、見つけ出された。来ているはずの冬鳥はカムリカイツブリ以外、見られなかったのは残念だったが、チョウゲンボウが

バッタらしいものを捕らえて食べた場面に遭遇したのが印象的だった。

<認めた鳥> カイツブリ、カムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、イソシギ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計26種

11 月手賀沼探鳥会

番外 アヒル、コジュケイ、カワラバト
 <探鳥班>金子雅幸、肥後邦彦、浅野利幸、大久保陸男、松本勝英、松本葉子、谷山晴男、田中恒雄、落合聡、野口隆也、船津登、六角昭男、鈴木静治、金子幸子、相良直己、類地佑子、武藤康之、池田日出夫、小林博之、野口紀子、間野吉幸、常盤孝義、佐藤弘美、小玉文夫、成田奈穂、成田遥、成田菜、猪爪敏夫、古出洋子、小出夏妃、田丸喜昭(担当) 松田幸保 参加者 32 名

<カウント班>木村稔、田中功、佐々木隆
 調査日時 2010.10.14 9:25~12:00
 曇り 弱風 18

| 調査種 | 上沼 | 下沼 | 合計 |
|----------|-----|-----|-----|
| カイツリ | 6 | 9 | 15 |
| カンムリカイツリ | 0 | 3 | 3 |
| カワウ | 37 | 77 | 114 |
| ゴイサギ | 0 | 1 | 1 |
| ダイサギ | 10 | 5 | 15 |
| コサギ | 1 | 4 | 5 |
| アオサギ | 1 | 3 | 4 |
| コバクチョウ | 9 | 8 | 17 |
| カルガモ | 43 | 23 | 66 |
| コガモ | 69 | 0 | 69 |
| オマガガモ | 13 | 0 | 13 |
| バン | 1 | 0 | 1 |
| オオバン | 3 | 10 | 13 |
| 合計 | 193 | 143 | 336 |

<ピオトープ班>猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸
 調査日時 2012.10.5 9:30~11:20
 晴れ 弱風 27-28

台風通過後の晴天、10月なのにやや暑い。桜の葉、栗の実は落ちる。沼では湖上観察の舟。ピオトープの手作りゾーンと観察ゾーンの半分は雑草が繁茂していた。

例年に比べ観察された野鳥の種類は少ない。ヒヨドリの渡り、クロハラアジサシの群れの飛翔が見られた。イタチも観察できた。

<認めた鳥>カワウ、アオサギ、カルガモ、バン、クロハラアジサシ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、スズメ 計 11 種

調査日時 2012.11.11 9:00~12:00
 曇り 微風 13

最高気温が 16 という当日、一気に冬に近づいたことは参加者の服装で分かりました。また、晩秋の手賀沼探鳥は賑わいの手賀沼を予感できた例会になりました。

上沼でのミサゴ、鉄塔でのハヤブサ、“イケメン”のモズ、ホオジロ、下沼では 20 羽以上のコガモの群れ飛翔、久々のマガモ、ハジロカイツブリなどなど。カンムリカイツブリは今年は当たり年のようで、あちらこちらで見受けられました。

先週の JBF をきっかけに 4 名もの方が初参加いただき、小生初めての例会担当を無事務めることが出来ました。

鳥合わせ終了直前、オオタカが上空に現れ、きっちりと締めてくれました。

<認めた鳥>カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コバクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ハヤブサ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 40 種

<探鳥班>村瀬和則、大久保陸夫、船津登、中條信三、田中恒雄、桑森亮、松田幸保、常盤孝義、間野吉幸、野口隆也、村松寿夫、猪爪敏夫、佐々木隆、類似佑子、塚本真次郎、田丸喜昭、小林博之、落合聡、佐藤弘美、小沢淳宏、木下真一郎、西嶋昭生、六角昭男、松本葉子(担当) 松本勝英 参加者 25 名

<カウント班>木村稔、小玉文夫、染谷迪夫、北原建郎
 調査日時 2012.11.11 9:30~12:10
 晴 微風 気温 16

| 調査種 | 上沼 | 下沼 | 合計 |
|----------|----|----|----|
| カイツリ | 13 | 8 | 21 |
| カンムリカイツリ | 37 | 5 | 42 |

| | | | |
|--------|-----|-----|-----|
| カワウ | 54 | 47 | 101 |
| ゴサギ | 2 | 0 | 2 |
| タサギ | 2 | 2 | 4 |
| コサギ | 3 | 2 | 5 |
| アオサギ | 15 | 9 | 24 |
| コバハチヨウ | 10 | 10 | 20 |
| マガモ | 4 | 9 | 13 |
| カルガモ | 50 | 13 | 63 |
| コガモ | 78 | 13 | 91 |
| カサガモ | 10 | 0 | 10 |
| ヒドリガモ | 0 | 6 | 6 |
| オオガモ | 0 | 7 | 7 |
| バン | 1 | 0 | 1 |
| オオバン | 13 | 17 | 30 |
| タゲリ | 0 | 12 | 12 |
| 合 計 | 292 | 160 | 452 |

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、谷山晴男、鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸

調査日時 2012.11.1 9:30~11:15

快晴 弱風 16-23

沼は波立たず静かな水面。柏駅周辺のビルがよく見える。遊覧船も沼を進む。上空にはカモ、タゲリの渡りが見える。鷹(チュウヒ、トビ)も上空を舞う。ピオトープではアオジ、コガモ、ユリカモメを始め16種の野鳥が観察出来た。

<認めた鳥> カワウ、カルガモ、コガモ、キジ、バン、ユリカモメ、ヒヨドリ、モズ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス計16種

葛西臨海公園探鳥会

10月21日

「ヨシゴイ君、久しぶりだね」

池田日出夫

葛西臨海公園は1989年に開設されましたが、その当時は江戸川区に住んでいたため、しばしば葛西臨海公園を訪れていました。その当時、水族館は出来ていましたが、他にはほとんど施設がなく木々もまばらで、とてもバードウォッチングの雰囲気ではなかった

と記憶しています。現在の葛西臨海公園は、珍鳥のニュースもしばしば聞かれる興味ある公園になり、今回の探鳥会も期待を込めて参加しました。

快晴、気温25度で、この季節としては暑すぎるくらいで、探鳥会日和となりました。参加者全員が午前9時に葛西駅前に集合し、出発しました。まず、日本庭園に立ち寄ると、ヤマガラが木々の間から姿を現した。出たり入ったりとサービスしてくれました。次に海側の通りを進むと、海上の杭の上にはウミネコ、水際にはイソシギが見つかりました。さらに遠くには、陸側にトウネンとハマシギ、また海上にはヒドリガモが見つかりました。いろいろの鳥が観察されて幸先が良いスタートです。

次に、陸地に入り、キビタキが出るというクロジ谷に向かいました。そこでは、数人のカメラマンが陣取っており、我々も仲間に入れてもらい、待つことにしました。待つこと2、30分、谷の向こう側にキビタキが現れ、あちこちと慌ただしく動き回り、去って行きました。一瞬でしたが、キビタキの黄色い色が印象的でした。そのすぐ傍には、別の方向を狙っているカメラマンが数人椅子に座って陣取っていました。これは、アカゲラを狙っているとのことでしたが、朝早くから待ってまだ一回しか出ていないということでした。我々は、このサイトは素通りです。「大変だね」とか、「でも健康にはいいよ」とか、「しかし、運動不足になるよ」などと勝手な冗談を云いながら通り過ぎました。さらに、水族館の脇を通過してウオッチングセンターに到着し、昼食となりました。

昼食後、まずウオッチングセンターの2階に上り、鳥を探しました。ここは何もないことで有名だとの皮肉な話もありましたが、評判通りの結果でした。次に、上の池の観察ではコガモ、オオバン、カイツブリなどが観察され、池の真ん中でアオサギが水浴びをしていました。もう少し待っていれば、アオサギの「座禅ポーズ」が見られると思いましたが、池の杭はすでにカワウでいっぱい、アオサギはどこで羽を乾かすのやら。周りの森ではカケスの声が聞こえましたが、姿を見ることはできませんでした。続いて、偽岩の観察窓に向かいました。偽岩には、例によ

ってカメラマンが沢山いて観察が大変でしたが、なんとかアオアシシギとイソシギを観察することができました。

次に、対岸の観察舎に向かい、イソシギ、セイタカシギ、タシギ、オナガを観察しました。途中の森では、ヒガラやアカゲラ（声）を観察、また道の傍らでは、名前のわからない可憐な花が咲いていました。写真に撮って後で確認したところ、フジウツギ科に属するフサフジウツギという花でした。パソコンで見ると、薄紫色の花弁の真ん中がオレンジ色のある綺麗な花でした。「渡り鳥楚々と見送る藤空木」。

次に、渚に向かうと、その途中で、ヨシゴイが出たという情報が入ったので、急遽進路変更してヨシゴイのスポットに向かいました。ヨシが茶色になっているので、ヨシゴイを見つけるのが大変でしたが、上の池の対岸のヨシに中にいるのをやっと見つけることができました。ヨシから顔を出して魚を狙っているようでした。この時期にヨシゴイを見るのは初めてで、「ヨシゴイ君、久しぶりだね」と言いたい気分です。渚に到着し水鳥を探しましたが、小潮のために砂地があまりなく、鳥は皆無でした。最後に、誰かがはるか遠くにミサゴを見つけました。午後 2 時過ぎに駅前広場で鳥合わせをして解散しました。特に珍しい鳥はいませんでした。話題が豊富で、楽しい探鳥会でした。

【幹事報告】快晴、無風。10 月としては暑いほどの気候で、葛西臨海公園は何時にも増して多くの人々で賑わっていた。しかも、小潮で干潟が僅かに出るだけの、コンディションとしては最良とは言えぬ中、探鳥会は実施された。広い園内を端から端まで歩き廻り、認めた鳥は何と 44 種。キビタキ、ジョウビタキ、ヤマガラが一諸に出るシーンもあった。またこの時期としては珍しいヨシゴイを、全員が確認する事が出来た。このヨシゴイ、無事越冬する事が出来るのか？ちょっと心配だ。

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ミサゴ、トビ、バン、オオバン、トウネン、ハマシギ、アオアシシギ、タシギ、イソシギ、セイタカシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモ

メ、ウミネコ、キジバト、カワセミ、アカゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ウグイス、キビタキ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、スズメ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス計 44 種 番外カワラバト
< 参加者 > 池田日出男、大久保陸夫、中野久夫、船津登、桑森亮、浅野利幸、村松寿夫、相良直己、古賀嗣朗、岩田孝之、岩田マキエ、田丸喜昭、田丸メリールイス、柴本三弘、柴本法子、和田朋之、丸嶋紀夫、落合聡（幹事）松田幸保、金子雅幸 計 20 名

伊豆沼・蕪栗沼探鳥会

11 月 23 日、24 日

壮大な万羽の雁の帰入り(落雁)と

朝の飛び立ちに感動

丸嶋紀夫

今年 6 月に我孫子野鳥を守る会に入会して、初めての泊りがけの探鳥会でした。伊豆沼・蕪栗沼は以前から行きたかった探鳥地の一つだったので、すぐに参加申し込みをしました。とはいえ、マガンは映像や写真では見たことがあるものの本物は初めてという初心者なので、「落雁」や「朝の飛び立ち」がどういうものかよくわからず、ただただ写真に撮ってみたい一心でした。

11 月 23 日（金・祝）

朝 8 時、我孫子駅北口から、小雨が降り始める中、女性 2 名を含む総勢 13 名でマイクロバスが出発。出発してすぐに鈴木幹事から感想文の指名を受けて愕然。常磐道に入っただけで渋滞が広がったが、美野里 PA で休憩したあと渋滞はすぐに解消した。

いわき JCT より磐越道に入りしばらく経過した後、追い抜き車の飛び石により乗っていたマイクロバスのフロントガラスにひびが入る珍しいアクシデントがあった。その後、郡山 JCT より東北道に入り、安達太良 SA で昼食。到着が 12 時だったので、食堂は大変な混雑。並んで順番を待ち、やっと暖かいラーメンにありつく。

途中、車内で田中幹事より、ガンとカモの違い、マガンとカリガネの識別、シジュウカラガンとカナダガンについて、レクチャーが

あった。鳥見初心者の私にとっては奥の深い講義であった。

古川 IC で東北道を降り、一般道へ入ると、薄日が差しはじめ一同盛り上がってきた。道路わきの田んぼにマガンの一団がくつろいでいるのが何箇所も見られ、いよいよという感じになってきた。しかし、日没が迫ってくる中で一時道に迷ってしまい、幹事の方々とバスのドライバーの方は地図を見ながら相談したりしてあせっていたようだが、後ろに乗っている私たちもこのまま見られないのではないかと不安になった。

ようやく、16時ごろ夕暮れ迫る蕪栗沼に到着。すでに駐車場脇の土手には観察者が集まっていた。四方の空からマガンの群れが次から次へと湧いてきて、続々と沼に到着。上空は羽音と鳴き声が響き渡り、いくつもの集団がぐるぐるとまわり、次々と身体を反転して急降下して着水し、大狂乱状態であった。見ている私たちもその迫力に興奮して歓声を上げながら夢中でシャッターを切り続けた。沼の水面はどんどん埒入りしたガンや白鳥で埋まっていった。私には鳥の識別は不可能であったが、シジュウカラガンも観察できたそうである。日没後真っ暗闇になっても大狂乱状態のまま埒入りは延々と続いていた。

17時ころまで観察した後蕪栗沼を出発して、宿舎である伊豆沼ウェットランド交流館に17時45分ころ到着。

夕食後、幹事部屋で懇親会があり、21時就寝。目の前の伊豆沼からマガン、オオハクチョウ等の鳴き声が夜中続いていた。深夜には星も月もきれいだった。

11月24日(土)

明け方、マガン、オオハクチョウ等鳴き声がかだんだん大きくなる中、5時起床、5時半出発。出発直前の靴を履いているときに、地震。震度4、マグニチュード5.2という大きいもので、びっくりした。

真っ暗な中、懐中電灯で照らしながら、20分程で伊豆沼西側の土手の朝日の見える観察ポイントに到着。無風で寒さはそれほどではなく、すでに大勢の観察者が待機。

沼は枯れたハスが広がり、手前側にオオハクチョウ、遠くにマガンの大群が見えた。マガンは日の出前から三々五々飛び立っていたが、6時半に雲の隙間から日の出が始まる

と、大群が一斉に飛び立つ。マガンは沼の奥から茜色の東の空を埋め尽くし次々と鳴きながら目の前を通過、その数の多さに圧倒。その一団が飛び立った後、遠くにいたマガンたちはハスの手前側に徐々に現れ、いつの間にか水面を埋めつくし、最後にそれが一斉に飛び立つ。そのうちの1羽のマガンは体調が悪いのか、沼からすぐ目の前の田んぼに降りた。マガンの飛び立ちの後オオハクチョウの群れも順次飛び立ち。

7時過ぎに観察終了。宿舎へ戻る。途中、宿舎前の伊豆沼にヒシクイ。

7時半宿舎帰着、すぐに朝食をとり、8時半マイクロバスに乗り宿舎出発。

9時前に内沼に到着。下車して沼に近づくとオナガガモ、マガモ等が近寄ってきて歓迎。至近距離で3羽のマガンを見る。マガンは羽を痛めて飛べないようだ。オオハクチョウも間近で見える。トビも近くの木立に止まり、駐車場先の田んぼにはオオハクチョウのファミリー。

10時に蕪栗沼に到着。川向こうの木の枝にはノスリが正面を向いて私たちを見ていたが、カメラを構えるとすぐに飛び立つ。両側にヨシが茂る土手沿いを歩く。水面が見えるところに出るとヒシクイの大群。すべて、亜種オオヒシクイとのこと。沼は水深が浅く立ち寝しているもの多く、時々上空からヒシクイの一団が降下着水。こんなに間近でヒシクイを見られるとは、夢中でシャッターを切る。

オオハシシギ3羽が沼の中央付近、泥の中で採食しながらヒシクイの群れの周囲を歩きまわる。両者の大きさの違いがよくわかる。ヒシクイは長い首を振りながら時々鳴き交わし、泥の中を歩いているものあり。

ここで千葉県野鳥の会と遭遇。私の住まい近くの知り合いのバーダーと声を交わす。こんなところで会うとは何という奇遇。

11時、蕪栗沼を出発。古川 IC までの田んぼでマガンの群れ。その都度停車して車内から観察。3~4枚の田んぼに数百羽という大きい一団もあり、その中にはこちら側を注視する見張り役の鳥もいた。

帰りも往きと同様に東北道、磐越道、常磐道を通り、途中遅い昼食を国見 SA でとる。夕方、谷和原手前で帰りの渋滞に会い、谷和

原 IC で降りて一般道に入り、19 時に我孫子駅北口に無事到着。

幹事、参加者の皆さん、ありがとうございました。

【幹事報告】本会としては 7 年ぶりの伊豆沼・蕪栗沼探鳥会で 13 名(うち初めての方 8 名)、小型バスで片道約 10 時間(うち探鳥 1-2 時間含む)の長旅でしたが、皆元気で行ってこれることができました。天気予報は曇り、雨でしたので心配しましたが、参加の皆さんの心掛けの良いせいから仙台周辺は曇り、少し陽が出る天気でした。蕪栗沼では数万羽のマガン*の「夕暮れ時の落雁」を、また 蕪栗沼の日中数百羽のヒシクイ**が浅瀬で休息する様子を、伊豆沼では日の出前後の数万羽の大きなマガンの「朝の飛び立ち」を、更に帰途のバスより 昼頃千羽のマガンが田で休憩・採食する様子も観察できました。なお シジウカラガン**数十羽を蕪栗沼の埒の中で、オオハクチョウは伊豆沼・内沼・蕪栗沼周辺で多く見ることが出来ました。高速道路で追い抜き車による小石がバスのフロントガラスに当たりガラスに小さな穴があくハプニング、夕暮れ時なかなか蕪栗沼につかず心配しましたが、結果は良く、参加者の皆さん、特に

初参加の方は越冬地で絶滅危惧種・準絶滅危惧種がこんなに多く生息する環境(天然記念物指定、ラムサール条約批准)、そこで繰り広げられる雁の集団生活の一端、朝の飛び立ち、昼田での休息・採食、夕暮れ時の埒入り(落雁)を垣間見ることができ、満足された様子でした。

*準絶滅危惧種 **絶滅危惧種

< 認めた鳥 > カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、シジウカラガン、マガン、ヒシクイ、オオハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、トビ、ノスリ、チュウヒ、オオバン、オオハシシギ、タシギ、キジバト、アカゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、モズ、ツグミ、ウグイス、シジウカラ、アトリ、カワラヒワ、ホオジロ、スズメ、シメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 38 種
番外 アヒル、カワラバト

< 参加者 > 小笹彰、村松寿夫、中野久夫、金子雅幸、丸嶋紀夫、桑森亮、船津登、和田朋之、天野睦子、古出洋子、(幹事)田中功、松田幸保、鈴木静治 計 13 名

鷹 見 の 楽 し み

我孫子(布佐地区)の鷹見と白樺峠の鷹見

鈴木静治

地元、布佐地区には利根川、斜面林と森、広大な水田、手賀川周辺で四季鷹見をすることが出来ます。2009 年 2 月ウスハイロチュウヒが飛来し全国から著名なカメラマンが集まった場所でもあります。春桜の咲く頃ツミが繁殖のため渡って来て、公園等に巣を作ります。またサシバも渡来し森に巣を作ります。

トビ、チョウゲンボウ、ハヤブサは通年見られます。稲が大きくなる夏頃はあまり鷹がみられなくなりますが、稲刈りが終わった後、秋から冬にかけて、ミサゴ、チュウヒ、オオタカ、ノスリが見られるようになります。冬本番になると、ハイロチュウヒが見られることもあります。稀にコチョウゲンボウも見られることもあります。布佐地区での鷹見は冬場がお勧めです。2 時間位かければ、3-4 種の鷹が見られ、違う日に行けばまた違う鷹が観察できます。写真を写そうと近づくと鷹の眼は望遠レンズになっていますので、警戒して逃げますので、スコープの観察、撮影がお勧めです。広い田の中でとまっている鷹を観察しますと、その鷹の習性がわかると思います。なお手賀沼周辺の鷹については、間野さんが 1998-2007 年の鳥だよりの記録をまとめておられますので参照下さい(会報 211,2009.11-12、212, 2010.1-2)。

一方、乗鞍岳中腹 1500m の白樺峠 9~10月に鷹(サシバ、ハチクマ、ノスリ、ツミ等)の渡りが見られます。本会の鷹の渡りの探鳥は 2004 年以降伊良湖岬へ 2 回(2004 年、2009 年)、白樺峠へ 3 回(2007 年、2008 年、2010 年)していますが、伊良湖岬 2009 年、白樺峠 2010 年を除き鷹柱、サシバ川が見られていません。2008 年白樺峠の宿(現在、奈川温泉は火災で焼失)で、鷹柱は何羽から言うのかと議論されたのを思い出します。以前から鷹の渡りをよく見にいかれていた西巻さん、中野さん、諏訪さんでさえ数十羽の鷹柱しか見られていない状態でした。一方有志で白樺峠へ 4 回(2009~2012 年)行った時は幸運にも鷹柱、サシバ川が見られました。一日で 1,000~5,000 羽観測されています。どのような時多くの鷹の渡りが観察されるか信州ワシタカ類渡り調査研究グループの観察データをもとに、考えてみますとサシバ、ハチクマについては次のような日が良いことが分かります。白樺峠では、9 月 20 日前後 雨の日の翌日又は翌々日の晴れの日 12~14 時の出現数が多いことです。なお、ノスリ、ツミについては時期が遅れて 10 月 20 日前後になります。北国から集まってきて雨のため森で待機していた鷹は地面が温められ上昇気流の湧く晴れの午後に飛び出し鷹柱、サシバ川になると考えられます。白樺峠で鷹柱を見ようとしますと、我孫子から車で 6 時間はかかりますので、暗いうちに我孫子を出発するか、前夜宿泊するか等、天気の良い日の 12~14 時まで現地に着くような工夫が必要です。

白樺峠の鷹見台は信州ワシタカ等の渡り研究調査グループの努力で開かれ、維持されていますが、乗鞍岳を背にし、奈川温泉、安曇野、遠くは 2000m 級の浅間山、美ヶ原の見える眺望の素晴らしい山の斜面にあり、数百人の人が鷹柱を見ることが出来ます。30~100 羽の鷹柱、サシバ川を一度みたら最後、やみつきになります。これだけ多くの鷹が一度に現れると、種類はすぐには分かりませんが、暫く見ていると、大きさ、羽の形等から、サシバ、ハチクマ、ツミ、ノスリ等と分かります。ひょっとすると、手賀沼周辺で春見たツミ、初夏見たサシバもこの中に入っているのではと思ったりします。越冬に暖かい石垣島、ジャワ島に行ってらっしゃい。また春の渡りで元気に帰ってきて。と見送りました。

白樺峠では我孫子で見られないハチクマが多く、アカハラダカ、クマタカ、イヌワシ等が見られることです。殆どの鷹の渡りが見られますが、圧巻なのは渡りをしないクマタカ、イヌワシでしょう。クマタカの飛翔をみてびっくりしたのは羽ばたきをせず、滑空だけ旋回して飛び谷の樹にとまったことです。図鑑をみますと、羽ばたきは殆どしないとの記載があります。イヌワシは頭上高く 1,000m 以上上空を悠々と飛んでいるのを見たことがあります。イヌワシも殆ど羽ばたきをしないようです。また、鷹の観察をしていますと、ふわふわと優雅に飛ぶ水色の蝶アサギマダラを見ることがあります。なんとこの蝶も遠くは鹿児島県与論島、喜界島、沖縄県西原町まで渡りをするそうです。

白樺峠は伊良湖岬と並び本州では一番よく鷹が見える場所ですが、前述の 4 種の他の鷹の渡りを見ようとする場合、北から宗谷岬(オオワシ、オジロワシ)、佐多岬(ハイタカ)、対馬市内山峠、五島市福江島(アカハラダカ)等があるようです。なおサシバの渡りは都城市金御岳も有名で、小玉さんがその時の様子をハヤブサのつっこみも含め書いておられます(会報 No.217,2010.11-12)。金御岳では白樺峠と違い午前中の方が鷹柱をよく見られるとのこと。白樺峠を通過したサシバは金御岳上空を通るようです。

なお、海外へ目を移しますと、NHK のワイルドライフで地中海で渡る小鳥を待ち伏せ狩り、子育てをする鷹として放映された北アフリカから地中海を経てマダガスカルまで渡るエレオノラハヤブサ、他にアカアシチョウゲンボウ、アシナガワシ、ヒメハイイロチュウヒ、ヨーロッパハチクマ、ミナミチュウヒ等の鷹が渡りをするようです。

また、鷹以外の鳥も渡りをしますし、蝶、蜻蛉、ウンカ、鮎、蛙、マグロ、鰻、海亀、蝙蝠等も渡り(移動)をする種類のいることが知られています。機会があれば、色々な渡りを観察したいものです。

【手賀沼クリーン作戦の実施報告】

期 日 10月14日(日)

集 合 我孫子市役所 午後1:30~2:45

内 容 時々小雨が降る中、環境保全活動の一環として、手賀沼の柏市側の探鳥ポイントを中心にゴミ清掃をしました。

参加者 間野吉幸、松田幸保、佐々木隆、小玉文夫、相良直己、金子雅幸、田中恒雄、野口紀子、古出洋子、古出夏妃、金子幸子、船津登、野口隆也 計13名

【手賀沼親子ふれあい探鳥会】

手賀沼流域フォーラム地域企画の一環として、当会が企画した親子を対象とした探鳥会を今年も実施しました。

今回の探鳥会は快晴に恵まれ風もなく絶好の探鳥日和になった。

昨年は十数羽のタゲリ観察で満足したが、今年はミサゴがハイライトでした。ミサゴの休息、飛翔、ダイブによる魚の捕獲、魚を食卓で捕食など一連の行動を全員がじっくりと観察し大満足の様子でした。その他チョウゲンボウやカンムリカイツブリなど合計39種の野鳥を観察しました。野鳥ビンゴをしながらの探鳥のため、参加者はビンゴが完成するよう一生懸命鳥を探するなど鳥見に熱中した様子でした。

最後はビンゴの数に応じた当会特製の野鳥カードをプレゼントし、大いに盛り上がりました。また当会の「塗り絵セット」は全問ビンゴを完成した人にプレゼントしました。会員の親切な案内に感謝され、異口同音に楽しい探鳥会だったとの評価を受けました。

実施日：2012年11月25日(日)9時~12時 天候：快晴

行 程：手賀の丘公園~手賀沼(下沼)~手賀の丘公園

認めた鳥：カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コバクチョウ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミサゴ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ルリビタキ、ウグイス、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、クロジ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計39種

参加者：18名。内一般者13名、当会会員 桑森亮、野口隆也、松本勝英、六角昭男、間野吉幸

【ジャパンバードフェスティバル 2012における我孫子野鳥を守る会の参加報告】

11月3日(土)、4日(日)の2日間 JBF2012 が手賀沼親水広場(水の館周辺)、鳥博広場(鳥の博物館周辺)、アピスタ周辺等で開催されました。期間中天候にも恵まれ、かつ会員の積極的な対応により、守る会ブース来場者の合計は1,904人(うち鳥博前テント1,132人、湖畔BW567人、船上BW205人)にのびりました。参加担当会員は準備日も入れて延84人になりました。今回初めて作成したPRパンフレットもプラスして、期間中3人(家族会員含めて4人)が新入会員の仲間入りをしてくれました。

ブース (紙芝居・塗り絵)

紙芝居「沖縄のヤンバルクイナ」を上演。我孫子高校生が話し手として支援してくれました。「塗り絵」は昨年までのものにヤンバルクイナ、フクロウを追加。無料の塗り絵と野鳥カードは親子ともに大変好評でした。なお反省事項としては荷物の保管場所の確保等です。

(庭に鳥を呼ぶ)

草木の実69種、人工餌5種を展示。身近な野鳥の食べ物に興味深々でした。

熱心な質問がたくさん出ました。反省事項としては餌箱見本の充実、鳥の食べる

木の実一覧表の充実、草木の採集は代表的な 20 種類程度に絞る等です。

(パネル展示)

手賀沼の鳥の変遷、四季の手賀沼周辺散歩、10 年間に観察されている野鳥等。手賀沼のカモ類の激減に驚きがありました。身近な野鳥の写真と手賀沼周辺の探鳥地紹介は好評でした。反省事項はテント奥までの来場者誘導、アイ・キャッチの工夫、各コーナー間の連携等です。

ブース (湖畔バードウォッチング)

三脚・スコープ 4 セットを設置。567 人にバードウォッチングを楽しんで頂きました。観察された野鳥は 30 種 + 番外 3 種。手賀沼の鳥の変遷ボードも好評。反省事項としては湖畔までの導線の確保、案内板の作成等です。

ブース (船上バードウォッチング)

2 日間で 6 便、ほぼ満席でした。205 人が乗船して、船上からのバードウォッチングを楽しんで頂きました。観察された野鳥は 22 種。野鳥カードも 211 枚と好評でした。

11 月役員会報告

日時 11 月 11 日 (日) 13:30 ~ 16:30

場所 水の館 3 階研修室

1. H25 年度上期行事計画 検討の結果、下記の通り決定しました。

| 月 | 日 (曜日) | 行 事 | 担 当 (下線: 主担当) |
|----|------------------|------------------------|----------------------------|
| 4月 | 4 (木) | ピオトープ調査 | 鈴木 |
| | 14 (日) | 手賀沼探鳥会・カウント | 探鳥会: 松田 |
| | 14 (日) | 定期総会、事務局会議 | |
| | 20 (土) | 葛西臨海公園探鳥会 | 松田・桑森 |
| 5月 | 2 (木) | ピオトープ調査 | 鈴木 |
| | 3 (金・祭) | 筑波山探鳥会 | 金子雅・北原 |
| | 12 (日) | Enjoy 手賀沼探鳥会、役員会 | 探鳥会: 梁谷・野口(隆) |
| | 25 (土) 26 (日) | 奥日光探鳥会 | 木村・六角 |
| 6月 | 2 (日) | 御前山探鳥会 | 梁谷・小玉 |
| | 6 (木) | ピオトープ調査 | 鈴木 |
| | 9 (日) | 手賀沼探鳥会・カウント、事務局会議 | 探鳥会: 松本 |
| | 23 (日) | 笹川・印旛沼探鳥会 | 野口(隆)・六角 |
| 7月 | 4 (木) | ピオトープ調査 | 鈴木 |
| | 14 (日) | 手賀沼探鳥会・カウント、役員会 | 探鳥会: 小林寿・野口紀 |
| | 28 (日) | 映写会 (午前) 懇親会 (昼食含む) | 野口(隆)・相良 小林(寿)・野口(紀)・蒲田 |
| 8月 | 1 (木) | ピオトープ調査 | 鈴木 |
| | 4 (日) | ホテルの夕べ | 梁谷・木村 |
| | 11 (日) | 手賀沼探鳥会・カウント、事務局会議 | 探鳥会: 北原 |
| | 25 (日) | 稲敷シギ子探鳥会 | 松田・松本 |
| 9月 | 5 (木) | ピオトープ調査 | 鈴木 |
| | 8 (日) | 手賀沼探鳥会・カウント、役員会 | 探鳥会: 船津 |
| | 20 (金) | 白樺峠・乗鞍探鳥会 (6:30 発) | 桑森・金子(雅) |
| | 21 (土) | | |

2. 会報 230 号掲載予定記事
資料に基づき、検討のうえ決定しました。
3. 芋煮会(12/16)の担当
資料に基づき、検討のうえ決定しました。
今回は探鳥会(岡発戸の谷津田)の後に芋煮会を開催。
4. ホームページの運営
HPの運営委員を新たに6名とし、HPのアップは従来通り吉田さんをお願いすることになりました。
5. 会報贈呈先
会報贈呈先の削減見直しの検討を事務局に一任し、次回役員会に報告。
6. DVD写真集の取り扱い
資料に基づき、著作権保護の観点から配布基準を決定しました。
7. 塗り絵の活用
友の会「鳥絵同好会」イベントにおける当会作成の塗り絵の活用を了承しました。
8. 報告事項
 - ・ジャパンバードフェスティバルの実施結果(別掲の通り)
 - ・第2四半期会計報告
資料に基づき、検討の結果了承されました。
 - ・我孫子市民フェスタ(12/1,2)
資料に基づき、準備事項等を確認しました。

会 員 便 り (ab - yacho より)

【岡発戸・都部谷津】

今日(11/05)、昼ごろから岡発戸・都部谷津を歩いてみました。ゴルフ場のネット際の桜にシメが来ていました。真下から見ても逃げませんでした。中程の道路際の木(樹名?)には、ヤマガラ群れに張り合うようにウソがペアで居ました。一瞬ですが別のオスがいたようですが、少なくともペアははっきり確認できました。連れの女房は、ウソを実際に見たのが初めてで興奮していました。谷津の冬が実感できました。手賀沼湖畔では、バン4羽、ツグミ5羽をカウントしました。(2012.11.05 松本勝英)

昨日(11/05)の夕方近く、私も岡発戸を覗いたのですが、ゴルフ場のクラブハウス近くの桜並木にアカゲラがいました。10月22日にも見えていますから暫くは滞在するようです。(2012.11.06 木村稔)

下ヶ戸の斜面林でも昨日、アカウソの♂2羽を見ました。また、アカゲラは中峠、風土記の丘、四街道、佐倉等あちらこちらで見られているようです。(2012.11.06 橋本了次)

【キクイダタキ】

熱心な皆さんはもうどこかで観察されていてこの情報はおそらくとても旧聞なのかもしれませんが、たしか9月にメーリングリストで、我孫子市内でも見られるかもと書いたキクイダタキですが、予想どおり、我孫子市内在住の職員が今日、近所でヒガラの5~6羽の群れの中に見たそうです。私も通勤途上や松戸市内の自宅周辺で気にしてみたいと思います。(2012.11.10 平岡考)

【ミヤマガラス・コクマルガラス】

今年も我が庭（自宅南側田圃）にミヤマガラスがやってきました。昨日（11/15）定例のウォーキングの際、数十羽の群れを確認しました。なお、今のところコクマルガラスは確認できておりません。（2011.11.16 大久保陸夫）

昨日（11/26）の午後、北新田でミヤマ・コクマルガラスの群に会いました。今日は同じエリアでは確認できませんでした。どなたか、北新田で見られた方はいますか？
大久保さんの庭はミヤマガラスの越冬地ですね！（2012.11.16 松田幸保）

今日（11/27）の夕方、我孫子警察署裏手の北新田で、カラスの集団の中にミヤマガラス、コクマルガラス（黒色型のみ）が観察されました。（2012.11.27 松田幸保）

11月25日に中峠で見た結果では、ミヤマガラス 120+、コクマルガラス 30+（このうちに2羽が淡色型でした）あとから写真で総数を数えると約167羽でした。
以上、ご参考までに。（2012.11.28 橋本了次）

今日（12/02）、あけぼの山からの帰途、北新田地続きの柏市弁天下でミヤマガラス約30羽に会いました（コクマルなし）。（2012.12.02 松田幸保）

鳥 だ よ り

- | | |
|--|---|
| 9.21 [高野山] ヤガラ(1) 地鳴き 平岡考 | 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 9.24 [北新田] コシキリ(1) 越流堤横原で 中野久夫 | 9.29 [下沼田] フウゲ(2) 田の電線、電 柱にとまる 鈴木静治 |
| 9.24 [北新田] ル`舂(1) 4号排水路土手の 草上 中野久夫 | 9.29 [北新田] ル`舂(4) 落し堀の土手で 中野久夫 |
| 9.26 [千間橋] フウゲ(1) 田の上を滑 空 鈴木静治 | 9.30 [小金原] サバ(1) 15:19、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子 |
| 9.26 [北新田] ル`舂(2) 落し堀の畔で 中野久夫 | 9.30 [布佐平和台] ヤガラ(2) 公園の樹の 枝を嘴で叩く 鈴木静治 |
| 9.26 [布施下] ヒ(2) 飛翔 中野久夫 | 9.30 [北新田] ル`舂(2) 落し堀の土手で 中野久夫 |
| 9.26 [弁天下] ル`舂(4) 畑で 中野久夫 | |
| 9.27 [北新田] ル`舂(2) 排水路土手で 中野久夫 | 10.01 [布佐平和台] ヤガラ(1) 早朝、電線 にとまり鳴く 鈴木静治 |
| 9.28 [高野山] ヤガラ(1) 地鳴き 平岡考 | 10.02 [千間橋] ル`舂(1) 河原の葦の繁み にとまり、すぐ隠れる 鈴木静治 |
| 9.29 [片山新田] ル`舂(4) 15:28、水田の 草に止まり、餌を物色した戻る行動を 繰り返していた 飯泉仁・飯泉久美子 | 10.02 [高野山] ヤガラ(1) 地鳴き 平岡考 |
| 9.29 [根戸] サバ(1) 14:04、国道6号線上 空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子 | 10.03 [浅間前] フウゲ(1) 農道脇の電 柱上部にとまる 鈴木静治 |
| 9.29 [日秀新田] ヒ(1) 14:47、水田上空 を旋回 飯泉仁・飯泉久美子 | 10.03 [北新田] ヒ(1) 電柱から飛去 中野久夫 |
| 9.29 [日秀新田] フウゲ(1) 14:55、ガリ リツツド近くの電柱にてっぺんに飛来 | 10.03 [北新田] ノリ(1) 電柱から飛去 中野久夫 |
| | 10.04 [布佐] フウゲ(1) 森の間から飛 |

- 10.14 [北新田] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 10.16 [下沼田] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 電柱にとまる 鈴木静治
- 10.16 [下沼田] ㇿㇿ(1) ㇿㇿㇿㇿㇿ 6羽に追いかける 鈴木静治
- 10.16 [下沼田] ㇿㇿㇿ(1) 低地集水路岸の高い草にとまる 鈴木静治
- 10.16 [下沼田] ㇿㇿㇿㇿ(1) 田の上を飛び鉄塔上部にとまる 鈴木静治
- 10.16 [布瀬] ㇿㇿ(1) 鉄塔の下部にとまる 鈴木静治
- 10.17 [北新田] ㇿㇿ(1) 電柱上 中野久夫
- 10.18 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿ(1) 利根川岸の低空を飛ぶ 鈴木静治
- 10.18 [浅間前] ㇿㇿ(1) 小雨の中電柱にとまる 鈴木静治
- 10.18 [北新田] ㇿㇿ(1) 杭上 中野久夫
- 10.19 [北新田] ㇿㇿㇿㇿ(1) 越流堤横の樹上 中野久夫
- 10.19 [北新田] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 10.20 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 9:25、ㇿㇿㇿㇿとㇿㇿㇿの枝を行き来していた 飯泉仁
- 10.20 [布佐平和台] ㇿㇿ(1) 上空よりトビの鳴き声 鈴木静治
- 10.21 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 8:55、ㇿㇿㇿの枝に止まり休んでいた 飯泉仁
- 10.22 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 13:30~14:10、ㇿㇿㇿ 飯泉久美子
- 10.22 [布佐平和台] ㇿㇿㇿㇿ(1) ㇿㇿㇿにとまり鳴く(地鳴き) 鈴木静治
- 10.22 [岡発戸・都部谷津] ㇿㇿㇿㇿ(1) ゴルフ場クラブハウス近くの桜並木に 木村稔
- 10.24 [千間橋] ㇿㇿㇿ(1) 田の上を低空で飛ぶ 鈴木静治
- 10.24 [浅間前] ㇿㇿ(1) ㇿㇿㇿㇿㇿㇿに追われる 鈴木静治
- 10.24 [浅間前] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(1) ㇿㇿを威嚇する 鈴木静治
- 10.24 [発作] ㇿㇿㇿ(1) 川の上を手賀沼方向に飛ぶ 鈴木静治
- 10.24 [布瀬新田] ㇿㇿ(1) 農道の電柱にとまる 鈴木静治
- 10.24 [布佐] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 鳴き声が聞こえる 鈴木静治
- 10.25 [酒井根下 田の森] ㇿㇿㇿㇿ(1) 鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 10.25 [酒井根 下田の森] ㇿㇿ(1) 9:25、北北東方向を鳴きながら移動 飯泉仁
- 10.25 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿ(1) 鳴きながら木の天辺に飛来 飯泉仁
- 10.25 [江蔵地] ㇿㇿㇿ(9) 河原の柳の林にとまる 鈴木静治
- 10.25 [布佐] ㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 斜面林の道を横切り飛ぶ 鈴木静治
- 10.26 [江蔵地] ㇿㇿㇿ(1) 木の上にとまる 鈴木静治
- 10.26 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿ(1) 河原を低空飛翔する 鈴木静治
- 10.26 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 河原上空を飛ぶ 鈴木静治
- 10.27 [江蔵地] ㇿㇿㇿ(1) 河原葎原の木にとまる 鈴木静治
- 10.27 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 上空でカラスに追われる 鈴木静治
- 10.27 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(3) 上空を3羽並んで飛ぶ 鈴木静治
- 10.27 [江蔵地] ㇿㇿㇿ(8) 河岸の柳にとまり採食 鈴木静治
- 10.27 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(2) 田の上を飛ぶもㇿㇿㇿに追われる 鈴木静治
- 10.28 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿㇿ(2) 鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 10.28 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿㇿ(1) ㇿㇿㇿㇿㇿㇿの木のみに鳴きながら飛来 飯泉仁
- 10.29 [酒井根 下田の森] ㇿㇿㇿㇿ(1) 北側の屋敷林の縁を鳴きながら移動 飯泉仁
- 10.29 [北新田] ㇿㇿㇿㇿ(1) 越流堤横の樹上 中野久夫
- 10.29 [北新田] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 電柱から飛去 中野久夫
- 10.30 [江蔵地] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 河原上空を飛ぶ 鈴木静治
- 10.30 [北新田] ㇿㇿㇿㇿ(1) 越流堤横の樹上 中野久夫
- 10.31 [白幡] ㇿㇿㇿㇿㇿㇿ(1) 上空を停飛しながら飛ぶ 鈴木静治
- 10.31 [布佐平和台] ㇿㇿㇿㇿ(2) 公園の櫓にとまる 鈴木静治

- 11.01 [岡発戸新田] ㇿ(1) 葎原上空を飛ぶ 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸・金子雅幸
- 11.01 [岡発戸新田] ㇿ(1) 斜面林上空を飛ぶ 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫・間野吉幸・金子雅幸
- 11.03 [酒井根 下田の森] ㇿ(20) 8:31、東方向から出現し、柳の木の中に飛来 飯泉仁
- 11.04 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.05 [岡発戸・都部谷津] ㇿ(群れ) 樹上 松本勝英・松本葉子
- 11.05 [手賀沼畔] ㇿ(5) 下沼畔 松本勝英・松本葉子
- 11.05 [岡発戸・都部谷津] ㇿ(1) ゴルフ場クラブハウス近くの桜並木に 木村稔
- 11.09 [北新田] ㇿ(1) 越流堤横の樹上 中野久夫
- 11.10 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 8:09、鳴きながら柳の木に飛来 飯泉仁
- 11.10 [布佐平和台] ㇿ(5) 公園の木で採食 鈴木静治
- 11.10 [北新田] ㇿ(1) 越流堤横の樹上 中野久夫
- 11.10 [つくし野] ㇿ(1) 電線上 中野久夫
- 11.11 [手賀沼] ㇿ(1) 上沼 1 染谷迪夫・木村稔・北原建郎・小玉文夫
- 11.11 [手賀沼辺] ㇿ(1) 上沼 1 染谷迪夫・木村稔・北原建郎・小玉文夫
- 11.11 [手賀沼辺] ㇿ(1) 上沼 1 染谷迪夫・木村稔・北原建郎・小玉文夫
- 11.13 [江蔵地] ㇿ(15) 河原の高木に群れてとまる 鈴木静治
- 11.14 [大井新田先手賀沼] ㇿ(1) 11:35、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.14 [大井新田先手賀沼] ㇿ(1) 11:11、葎原の中で鳴いていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 11.14 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 9:27、林縁を鳴きながら移動 飯泉仁
- 11.14 [別所] ㇿ(約 50) 調整池を泳ぐ 鈴木静治
- 11.14 [高野山] ㇿ(20) 雑草の実に群がる 田中 功
- 11.15 [千間橋] ㇿ(1) 田でㇿ(1) の攻撃を受ける 鈴木静治
- 11.15 [千間橋] ㇿ(2) 薄の穂にとまる 鈴木静治
- 11.15 [千間橋] ㇿ(2) 葎にとまる 鈴木静治
- 11.16 [片山新田] ㇿ(1) 田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 11.16 [下沼田] ㇿ(1) 鉄塔の下部にとまる 鈴木静治
- 11.16 [水道橋] ㇿ(2) 川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 11.16 [浅間前] ㇿ(1) 田の杭にとまる 鈴木静治
- 11.16 [布瀬] ㇿ(1) 鉄塔の最上部にとまる 鈴木静治
- 11.17 [江蔵地] ㇿ(1) 河原の木の上を飛び回る 鈴木静治
- 11.17 [江蔵地] ㇿ(1) 河原の藪で鳴く 鈴木静治
- 11.17 [江蔵地] ㇿ(1) 川を越え取手方面へ 鈴木静治
- 11.18 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 9:15、杉の木の天辺に飛来 飯泉仁
- 11.18 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 9:21、柿の実を食べに飛来 飯泉仁
- 11.18 [江蔵地] ㇿ(1) 川岸の繁みにとまる 鈴木静治
- 11.18 [江蔵地] ㇿ(1) 川岸近くを下流方向に泳ぐ 鈴木静治
- 11.19 [酒井根 下田の森] ㇿ(3) 9:50、梅畑に鳴きながら飛来 飯泉仁
- 11.19 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 10:31、ㇿの木に飛来 飯泉仁
- 11.19 [酒井根 下田の森] ㇿ(1) 11:10、林縁を鳴きながら移動 飯泉仁
- 11.19 [浅間前] ㇿ(1) 農道の電柱にとまる 鈴木静治
- 11.19 [発作] ㇿ(1) 鉄塔にとまるもㇿ(2) 羽に追いだされる 鈴木静治
- 11.19 [布瀬] ㇿ(1) 田・川の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 11.20 [北新田] ㇿ(1) 電柱上 中野久夫

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカエリヒレアシシギ、アカゲラ、アカハラ、アジサシ、アトリ、アマサギ、アマツバメ、アリスイ、イソシギ、ウグイス、ウソ、エゾムシクイ、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オカヨシガモ、オシドリ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カケス、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラバト、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キクイタダキ、キジ、キジバト、キセキレイ、キビタキ、キンクロハジロ、クイナ、クロハラアジサシ、ゴイサギ、コガモ、コゲラ、コサギ、コサメビタキ、コジュケイ、コハクチョウ、コブハクチョウ、コヨシキリ、サシバ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セイタカシギ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セツカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウサギ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツツドリ、ツバメ、ツミ、トビ、トモエガモ、ノスリ、ノビタキ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒガラ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、マヒワ、マルガモ、ミサゴ、ミヤマガラス、ミヤマホオジロ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ヨシガモ

計 99 種

<番外種> アイガモ、アヒル、インドガン、エジプトガン、カワラバト、コジュケイ、ニワトリ、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

| | |
|------------------|------|
| 飯泉仁 | 383 |
| 飯泉仁・飯泉久美子 | 217 |
| 飯泉久美子 | 15 |
| 大久保睦夫 | 1 |
| 木村稔 | 2 |
| 木村稔・佐々木隆・田中功 | 21 |
| 鈴木静治 | 594 |
| 鈴木静治・松本勝英 | 1 |
| 鈴木静治・谷山晴男・猪爪敏夫 | |
| ・間野吉幸・金子雅幸 | 31 |
| 染谷迪夫・木村稔 | |
| ・北原健郎・小玉文夫 | 26 |
| 田中功 | 1 |
| 中野久夫 | 50 |
| 中野久夫・鳥博友の会員 13 名 | 1 |
| 平岡孝 | 11 |
| 平岡孝・仲村昇 | 1 |
| 松田幸保 | 2 |
| 松田幸保・松本勝英 | 1 |
| 松本勝英・松本葉子 | 5 |
| 総計 | 1363 |

(浅井久)

【ご寄付】

類地佑子さんよりご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

【新会員紹介】(11 月入会)

小山雄司、小山和子(我孫子市)、山本幸治(我孫子市)、小澤淳宏(柏市)

ほーほーどり No. 230 (2013 年 1 ~ 2 月号)

発行 2013 年 1 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務所 270-1154 我孫子市白山 3-8-16-104 間野方

連絡先 277-0005 柏市柏 1001-5 野口隆也 Tel 04-7163-7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)